

知っていますか？「新しい認知症観」

「新しい認知症観」という言葉をご存じでしょうか。

認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできる事・やりたい事があり、住み慣れた地域で仲間等と繋がりながら、希望を持って自分らしく暮らし続ける事ができるという考え方の事です。

当事者自身の、「私達抜きに私達のことを決めないで」という切実な声から生まれた概念です。



古い認知症の捉え方

- 認知症だと何もできなくなる
- 認知症になったら支援されるだけ
- 地域で暮らすのは無理
- 認知症は恥ずかしい・隠すもの
- 認知症になったらおしまい
- 自分には関係ない

新しい認知症の捉え方

- 分かる事、できる事はたくさんある
- できる事は自分でやれる。支え手にもなれる
- 地域の一員として暮らし、活躍できる
- 認知症でも自分らしく暮らせる
- 自分事として向き合い、備える

新しい認知症観の考え方を理解することで、
認知症の人とその家族が地域の人と支え合いながら、
安心して暮らす事ができるようになります。
皆さんも以下のイベントで、認知症について学んでみませんか？



おれんじフェスタ 2026 in アンフォーレ

認知症も知ってつながる交流の場

● 日時 9月5日(土)午前9時30分～午後3時 ● 場所 アンフォーレ

認知症サポーター養成講座

認知症を理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する人(サポーター)を増やす取組みとして開催します。

- 時間 午前10時～11時30分
- 定員 200人(先着)
- 申込 8月3日(月)から直接又は電話で高齢福祉課地域支援係(☎71-2264)へ

認知症を知る映画上映会

「父と僕の終わらない歌」(2025年公開)上映

出演：寺尾聰、松坂桃李 他

- 時間 午後1時～2時45分
(当日午前11時30分からホール入口で整理券配布)
- 定員 200人(先着)



イベント詳細



※その他、認知症情報・相談コーナー、認知症カフェ、ものづくり・体験コーナー、クイズラリー、バルーンアートプレゼント、企業出展 他

安城市認知症ガイドブック(認知症ケアパス)を配布しています

認知症の進行状況にあわせて、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスや福祉サービスを受けられるのか、どこに、どのような支援があるのかを掲載しています。市高齢福祉課、地域包括支援センター、福祉センターで配布中のほか、市HP(右QRコード参照)でも確認できます。



ガイドブック紹介

